



市川三郷町立市川中学校
校長 村松 章史

令和7年度 学校評価報告

日頃より、本校教育に対する深い御理解・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、12月に実施した「学校評価アンケート」では8割を超える御回答があり、皆様より多くの御評価と励ましのお言葉をいただきました。本当にありがとうございました。皆様からの御意見等を真摯に受け止め、見直しと改善を図りながら、教育活動の活性化を目指す所存です。来年度も、本校教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

1 学校評価の目的

学校教育法第42条に「小（中）学校は文部科学省の定めるところにより、教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、教育水準の向上に努めなくてはならない。」とある。本校では、4月に学校長が提示したグランドデザインに基づく本校の教育活動が適正に運営されているかを評価するとともに、よりよき教育にしていくための対策を講ずることを目的とし、実施している。

2 実施計画

4/ 1 (火)	職員会議 1	学校グランドデザイン (以下 GD) 周知 (職員)
5/ 2 (金)	PTA総会	GD周知 (保護者)
6/10 (火)	学校評議員会 1	R6学校評価情報共有/R7 GD周知/意見交換 (評議員)
7/ 2 (水)	職員会議 7	1 学期学校評価提案【対象・日程・評価項目】(職員) 学校生活アンケート【7/7 (月) -11 (金)】(生徒) 自己評価アンケート【7/7 (月) -11 (金)】(職員)
8/21 (木)	職員会議 8	1 学期学校評価分析と2 学期の取り組み確認 (職員)
11/10 (月)	職員会議 11	2 学期学校評価提案【対象・日程】(職員) 学校生活アンケート【12/3(水)-10(水)】(生徒) 学校評価アンケート【12/3(水)-19(金)】(保護者) 自己評価アンケート【12/3(水)-10(水)】(職員)
1/14 (水)	職員会議 13	2 学期学校評価分析と3 学期、R8の取り組み提案 (職員)
2/24 (火)	学校評議員会 2	R7 学校評価情報共有/R8に向けた意見交換 (評議員)
3/ 2 (月)	公表と報告	R7 学校評価結果 公表 (保護者・HP) 町教委 報告
13 (金)	総括会議	R7 GD振り返り/R8 展望 (職員)

3 報告内容（資料）

（1）令和7年度 本校GD

- ・5/2（金）PTA総会にて、校長より提案した
- ・「学校教育目標」「スクールモットー」「R7取り組み重点及び分掌」「取り組み指標」

（2）生徒のみなさん ならびに 保護者の皆様からの評価（数値）

- ・「1 確かな学力の育成」「2 豊かな心の育成」「3 健康・安全」「4 地域との連携」
- ・上段…生徒（質問数18）下段…保護者（質問数9）
- ・評価は A（思う）・B（まあまあ思う）・C（あまり思わない）・D（思わない）の4段階。A+Bを「肯定的評価」として、その割合を100点満点で示した。
- ・「評価（質問）項目」「R7評価」「R6評価」「GDにおける指標（目標）値」
- ・GDの指標（目標）値を超えたものは「緑」で、超えなかったもののうち「-5ポイント未満」は「黄」で、「-5ポイント以上」は「赤」で塗りつぶした。

（3）（2）アンケート結果（数値）に対する学校の分析

- ・上記「肯定的評価」を、「これまで（R6）より好転した点」「これまで（R6）より低下、または継続して課題となっている点」「その他 特徴として掲げる点」の3点から分析した。

（4）アンケート結果（記述）の分析（要約と考察）

- ・紙幅の都合、生徒・保護者の記述意見をまとめて分析した。
- ・「生徒の意見・要望」「保護者の意見・要望」「意見・要望が出る要因の考察」についてまとめている。

（5）R8に向けた具体的な改善策

- ・「1 継続して取り組みたいこと」「2 速やかに改善したいこと」「3 学校評議員から出された意見」をまとめた。



令和7年度 市川中学校 グランドデザイン

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた「たくましい生徒」の育成

スクール・モットー

敬愛
自他の幸せのために
行動できる学校



めざす学校像

1. 学ぶことが楽しい学校
2. 活気があり、笑顔のあふれる学校
3. 地域が応援し、保護者が信頼する学校



めざす生徒像

1. 自ら考え、主体的に学ぶ生徒（知）
2. 想像力豊かで他者を敬うことができる生徒（徳）
3. 心身の健康に努め、自己管理をする生徒（体）



めざす教職員像

1. 生徒、保護者の思いに寄り添った丁寧な指導に努める教職員
2. 高い専門性を発揮し、質の高い授業の創造に努める教職員
3. 学び合い、助け合い、高め合える教職員

今年度の重点取組及び分掌

確かな学力の育成

- 主体的な学習者を育てる授業づくり（全）
- ICT機器の積極的な活用（全）
- 校内研・授業交流を中心としたOJTの充実（望月俊）
- 家庭学習の習慣化と個に応じた内容の充実（塩島）
- 外国語教育の充実（丹沢）
- 個に応じた丁寧な進路指導の推進（丹沢）
- 豊かな学びのための有効な予算執行（渡邊新）

豊かな心の育成

- いじめを「許さない」「させない」指導の徹底（依田）
- 不登校を未然に防ぐための保護者やSC・SSW等との連携（教頭・依田）
- 「考え議論する道德」の推進（渡邊聖）
- 福祉教育・ボランティアの推進（長田）
- 自分事として取り組む生徒会活動の推進（佐野）
- 合唱活動の充実（渡邊聖）
- 読書活動の推進（笠井・渡邊和）
- 家庭や他機関と連携した特別な支援の充実（上田）

健康・安全

- 生徒自ら行う健康管理の推進（一瀬）
- 家庭と連携した健康教育の推進（一瀬）
- 「SNS利用宣言」の継続的取組（平嶋）
- 体力テストの結果分析と体力向上の取組（依田）
- 安全でメリハリのある部活動の推進（佐野・依田）
- 防災防犯訓練等の計画的な実施（教頭）
- 校内環境美化の推進（廣瀬）
- 生きる力を育む食育の推進（菊田）

地域との連携

- みさと学の推進（井上）
- 小中連携の推進（望月俊）
- 地域学校協働本部の活動の充実（教頭）
- 学校・家庭・地域連携推進協議会の活動の充実（井上）
- 学校ホームページの充実（塩澤・井上）
- 各種「たより」の計画的な発行（各担当）

取組の指標

あなたは授業内容が理解できていますか。
学校評価AB90%以上

あなたは、家庭学習に積極的に取り組んでいますか。
学校評価AB80%以上

先生方はICTの活用や教材教具の工夫をしていますか。
学校評価AB90%以上

いじめを許さない雰囲気がありますか。
学校評価AB90%以上

友達の大切さがわかり、互いに励まし合い、高め合う努力をしていますか。
道徳調査AB90%以上

読書意欲向上のための読み聞かせ
学期に一度開催

学校生活は楽しく充実していますか。
学校評価AB85%以上

平日就寝時刻が零時以降の割合（睡眠の確保・メディア使用時間低減を目指し）
保健調査15%以内

持久走力の伸びを前期後期で比較
AB85%以上

学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。
学校評価AB90%以上

小中連携が図られていますか。
学校評価A50%以上

1. 確かな学力の育成（生徒）		R7	R6	指標
1	あなたは、授業内容が理解できていますか。	91.4	93.3	85
2	先生方は、学習内容を分かりやすくするために、ICTの活用や教材教具の工夫をしていますか。	94.6	93.3	
3	先生方は、あなたの学力や学習に対するがんばりを正しく評価していますか。	98.5	97.5	
4	あなたは、自主学習ノートなどの家庭学習に積極的に取り組んでいますか。	79.8	69.7	80

2. 豊かな心の育成（生徒）		R7	R6	指標
5	学校生活は、楽しく充実していますか。	95.4	96.6	85
6	学校には、いじめを許さない雰囲気がありますか。	90.7	90.8	80
7	あなたは、友達、先生方、来校者などにしっかりあいさつをしていますか。	96.1	96.6	
8	あなたは、他人に思いやりをもって接していますか。	96.9	93.3	
9	あなたは、自分以外の人のために何かしようと心がけていますか。	94.6	89.9	
10	あなたは、学級活動や委員会活動、部活動に積極的に取り組んでいますか。	95.3	98.3	
11	あなたには、困った時に相談にのってくれる友だちや先生がいますか。	93.0	93.3	
12	先生方は、生徒に寄り添ったていねいな指導をしていますか。	96.1	97.5	

3. 健康・安全（生徒）		R7	R6	指標
13	あなたは、健康や安全に十分注意して生活していますか。	93.8	92.4	
14	あなたは、体力向上のために積極的に運動に取り組んでいますか。	85.3	79.8	
15	あなたは、防災学習(避難訓練を含む)に真剣に取り組んでいますか。	97.7	97.5	

4. 地域との連携（生徒）		R7	R6	指標
16	学校は、生徒の様子を積極的に文書やホームページで発信していますか。	91.5	87.4	85
17	あなたは、地域を学ぶまたは地域で学ぶ学習に積極的に取り組んでいますか。	89.9	87.4	
18	あなたは、地域行事へ積極的に参加していますか。	80.7	78.2	

1. 確かな学力の育成（保護者）		R7	R6	指標
1	子供は、家庭学習を含め、意欲的に学習に向かっている。	68.3	68.8	80
2	教師は、わかりやすい授業に努めている。	92.7	87.5	85
3	教師は、子供の学力や学習に対するがんばりを正しく評価している。	95.1	95.0	

2. 豊かな心の育成（保護者）		R7	R6	指標
4	子供には、豊かな心（思いやりなど）が育っている。	96.0	96.3	
5	学校は、いじめのない、正義が通る学校づくりに努めている。	87.8	88.8	80

3. 健康・安全（保護者）		R7	R6	指標
6	学校は、生徒の安心・安全について細かく配慮している。	95.2	91.3	
7	子供は、自分の生活リズム、SNSの使い方について気をつけている。	67.5	80.0	

4. 地域との連携（保護者）		R7	R6	指標
8	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	94.3	92.5	85
9	学校は、保護者や地域との連携に努めている。	91.0	90.0	

アンケート結果（数値）の分析

R7実績をR6実績及びGDで設定した目標値（指標）と比較し、本校の教育活動の現状と課題を分析する。

①これまで（R6）より好転した点

多くの項目でR6を上回る、あるいは高水準を維持する良好な結果を得た。

・家庭学習の意欲向上

生徒会/学年独自の取り組みが奏功し、「自主学習ノートなどの積極性」が69.7%→79.8%に上昇した。目標まであと少しのところまできている。

・ICT活用の定着と授業改善

職員による「ICTの積極的活用」が進み、保護者から見た「わかりやすい授業への努め」も87.5%→92.7%へと向上した。教員の授業改善努力が家庭に伝わった。

・生徒の主体性と心の育成

生徒の「他者への思いやり（96.9%）」や「他人のために行動する心（94.6%）」が向上した。体力向上（85.3%）や地域発信（91.5%）もR6より改善した。

・安全・安心な環境づくり

保護者評価が91.3%→95.2%に上昇。学校の安全管理体制への信頼が高まった。

②低下、または継続して課題となっている点

・生活リズムとSNS利用の課題

保護者の「子供の生活リズム・SNSの使い方」が80.0%→67.5%へと急落した。家庭における情報モラル指導が困難になっている現状があると考えられる。

・家庭学習に対する認識の差

生徒の「家庭学習への取り組み」は向上したが、保護者の「子供が意欲的に学習に向かっている」は68.3%に留まり、目標の80%を大きく下回った。

③その他の特徴

・情報発信への高評価

生徒（91.5%）、保護者（94.3%）ともに90%を超えた。新たに導入したデジタル連絡ツール「tetoru」による情報伝達が評価されたと考えられる。

・「いじめ」に対する認識

生徒の「いじめを許さない雰囲気」は90.7%、保護者の「いじめのない学校づくり」は87.8%となった。学校としては100%を目指したい項目であり、生徒の安全・安心確保のためのさらなる努力を要する。

・その他 改善の余地がある項目

生徒や保護者の評価が90%前半に留まっているものは「さらなる改善の余地がある」ものと捉え、対策を講じていく。

アンケート結果(記述)の分析(要約と考察)

(1) 生徒の意見・要望(抜粋)

○感謝・前向きな姿勢(多数)

生徒会活動への信頼が厚い。「生徒会提案に沿って生活していけば、とてもよい市川中になる」「笑顔や笑い声で一杯の学校にするための取り組みを考える」「学校を華やかに、明るく過ごしたい」と肯定的に捉えている。

●交流に関する要望

他学級/学年交流を求め、「月1回レクをする」といった具体的な提案が出ている。

●環境・規律に関する要望

施設面で「体育館の雨漏りを修理してほしい」という声がある。生活面では「挨拶をもっとする(来校者に。日々「ありがとう」)」という目標を自ら掲げている。

(2) 保護者の意見・要望(抜粋)

○感謝の声(多数)

校長の見守りや地域連携への感謝が目立ち、「毎日楽しく通っている」「子供が人として、大切なことを学び真っ直ぐに成長できていることに感謝」という声をいただいた。

●安全に関する要望

登下校の安全について、「遠くの生徒が家に着く頃、薄暗い程度で到着できるように下校時刻を設定してほしい」という具体的な改善案がある。

●ネット、SNSに関する要望

「タブレット活用を積極的にしてもらいたい」という要望がある一方、現代的な課題として、「SNSやゲーム等への依存、中毒を避けるため、専門家の知見に基づいて何らかの施策やガイドラインを策定してほしい」という要望がある。

●地域・保護者との連携に関する要望

「地域行事に積極的に参加できる体制を構築してもらいたい」「地域に出たときに見せる態度や行動について指導してもらえたら、よりよい市川中を築ける」「郷土愛を育み、将来的に故郷に残ってもらえるような教育をしてもらいたい」という要望がある。また、「学校行事に保護者が積極的に足を運ぶことが大切」という声もある。

(3) 要因の考察

○数値・記述ともに「地域との連携」が高いのは、ほうとう作りや役場への学習成果の掲示など、生徒が地域から「温かさ」を直接感じる機会を意図的に設けたからだと考えられる。ICT活用も「道具としての機器活用」に注力し、保護者からの信頼につながった。

●デジタル化の進展により、学校内だけでなく「家庭でのスマホ利用」が生活/学習習慣を脅かす大きな要因となっている現状がある。

●天候急変や野生動物出没、日没後の安全等、環境変化に対する要望が増えている。

●「少子高齢化」「地域と学校の協働」など、地域課題への対応を問う声も増えている。

R8に向けた具体的な改善策

(1) 継続して取り組みたいこと（成果のある取り組みの定着と発展）

- ・ICTを活用した「わかる授業」や「考え、議論する道徳」の推進と公開
ICTの「道具としての活用」の幅を広げ、子供が主体的に学ぶ学習を推進するとともに、授業公開を継続して保護者や地域からの信頼をさらに得られるようにする。
- ・主体性を育む生徒会活動と「合唱」の文化継承
生徒自らが提案する「学校改善」や高い達成感を得た「合唱の取り組み」などを継続し、生徒の自己肯定感や達成感を育てる。
- ・地域と連携した体験学習の充実
地域学校協働本部活動や「みさと学」を中心に、生徒が地域に愛着と誇りをもてる活動を継続する。

(2) 速やかに改善したいこと（評価によって指摘された課題への対応）

- ・生活リズムの改善と情報モラル教育の充実
「SNS利用・生活リズム」の課題に対する授業や学習会等を実施するとともに、家庭に向けても学習機会や情報を提供する。
- ・安全な登下校環境の整備と下校時刻の見直し
日没や野生動物の出没を考慮し、特に遠方の生徒が安全に帰宅できるよう下校時刻を再検討する。
- ・地域・保護者との連携、協働体制のさらなる推進
34年に渡り活動してきた「学校・家庭・地域連携推進協議会」や「地域学校協働本部」を軸にした連携を強化し、「市中生が地域に貢献する」「地域が中学生のために行動する」機会を創出する。

(3) 学校評議員（学校関係者評価委員）より出された質問・意見（要約）

- ・「AIを使うような授業はあるか」という問いがあった。「教科、学習内容や活動により、必要に応じて機会等を限定して利用している。手軽に使えるが故の懸念点もあり、真に「正しい使い方」を学ばせたい。」と回答した。
「本当の学力とは何か」について考えるきっかけを作っていた。
- ・「自主学習ではどのようなことに取り組んでいるのか」という問いがあり、各学年の取り組み内容や活用している教材等（ノート・問題集・ICT端末の活用）について紹介した。
「スマホを見ている子供を見て、「何をしているのかわからない」という保護者の不安や心配」「家庭におけるスマホの利用制限」についての話題があり、本校生徒会による「SNS利用宣言」について紹介した。学校としても「家庭学習の課題」-「スマホの使用時間の問題」-「睡眠時間の減少の問題」は密接に関連していると捉えており、今後の取り組み課題としていく必要があると考えている。
- ・その他、「本校の進学（受験）事情」「本町における中学校統合」についての質問があり、学校としてわかる/答えられる範囲で回答した。